

目標3 政策・方針決定過程への女性参画の推進

《目指すまちの姿》
 政策・方針決定の場に男女がバランスよく参加しています。そして、参加者が活発に意見を述べ合うことで気づきと新しい発見が生まれ、多様な意見を反映させた決定が行われています。

施策番号	【1】 政治への関心を高める取組の推進
------	---------------------

施策の内容	女性議員数の増加にもつなげるように、市民の政治への関心を高める取組を行います。
-------	---

19		数値目標						
担当課	秘書広報課 (広聴広報課)		現状値	H29	H30	H31	H32	H33
H29 事業計画	男女共同参画社会の実現に向け、関係課と連携を図り、地域におけるネットワークの構築と女性リーダーの育成のための意識啓発や学習機会の提供に努める。 ・ 市政への関心を高め、理解を深めるよう、市ホームページ等を通じた各課の取り組み情報の発信や、市民相談業務、出前講座等の継続的实施。							
H29事業計画に関する具体的な目標	《各課取り組みの情報発信》 本市広報紙の発行（年12回）及びホームページ、フェイスブック等の運用。 《市民相談業務》 コミュニティセンター市長懇談会や新成人との懇談など、来室、電話、メール等を含め、年間1,000件程の相談業務の実施。 《出前講座》 市民向け出前講座の実施（全141項目、実施件数 200件、受講者数 7,000人）。							
H29 事業実績	《各課取り組みの情報発信》 本市広報紙の発行（年12回）及びホームページ、フェイスブック等の運用。 《市民相談業務》 コミュニティセンター市長懇談会や新成人との懇談など、来室、電話、メール等を含め、年間1,182件の相談業務の実施。							
目指すまちの姿に対して、事業実施により得られた効果	市政情報の発信や市民相談業務、出前講座等の実施により、日常生活の広範にわたり男女共同参画について考える機会が提供された。							
事業の実施状況を踏まえた課題	市ホームページ等を通じ、各課の取り組み情報を発信するとともに、市民相談業務や出前講座等を継続的に実施することにより、長期的な観点から市政への関心を高め、理解を深めなければならない。							

20		数値目標						
担当課	人権課男女共同参画室		現状値	H29	H30	H31	H32	H33
H29事業計画	・内閣府男女共同参画局がホームページ上で公表している「女性の政治参画マップ」を、市ホームページとリンクさせて紹介する。							
H29事業計画に関する具体的な目標	・ジェンダー・ギャップ指数とともに紹介1回以上。							
H29事業実績	・市ホームページに「女性の参画状況」ページを作成し、市議会議員の女性割合を掲載した。また、ほかの自治体と比較できるよう、「市町村女性参画状況見える化マップ」「女性の政治参画マップ」をリンクさせた。							
目指すまちの姿に対して、事業実施により得られた効果	これまで広報できていなかった“女性の政治参画”というテーマについて、市ホームページ上で広報できた。							
事業の実施状況を踏まえた課題	<ul style="list-style-type: none"> ・本ページへのアクセス数が増えるよう、「議会報告会」などの話題性のある行事とも関連づけて発信することが必要。 ・日常生活と政治とのつながりを実感できるような情報発信の内容とすることが必要。 							

21		数値目標						
担当課	学校教育課		現状値	H29	H30	H31	H32	H33
H29事業計画	<ol style="list-style-type: none"> ①小学6年生社会「わたしたちの生活と政治」、中学3年生公民「現代の民主政治と社会」の学習において、主権者教育を推進する。 ②児童会・生徒会活動の充実による自治意識の育成を図る。 ③子ども議会を通して、市政への関心を高める（8/22）。 							
H29事業計画に関する具体的な目標	<ol style="list-style-type: none"> ①小学6年生社会「わたしたちの生活と政治」、中学3年生公民「現代の民主政治と社会」の学習を行い、国民としての政治へのかかわり方について考える場を設定する。 ②児童会・生徒会役員を育成するために、丸亀市子ども議会に向けたリーダー研修会の充実を図る（年1回以上）。 ③市政への関心を高めるために、8/22に丸亀市子ども議会を開催する。 							
H29事業実績	<ol style="list-style-type: none"> ①小学6年生社会、中学3年生公民の学習を年間計画通り実施した。 ②リーダー研修会を各学校群で計画し、年1回以上開催した。 ③8/22に子ども議会を開催し、小学生17人、中学生7人が参加した。 							
目指すまちの姿に対して、事業実施により得られた効果	・学習指導や丸亀市子ども議会等の行事を通して、子どもたちの市政への関心を喚起するきっかけを作ることができた。							
事業の実施状況を踏まえた課題	・対象となる児童・生徒が入れ替わっていくことから、今後もこれらの活動を継続していく必要がある。							

22		数値目標						
担当課	議会事務局		現状値	H29	H30	H31	H32	H33
H29事業計画	・議会活動の広報を行うため開催している「議会報告会」について、より一層、女性が参加できるよう、チラシ等の配布先等周知方法を検討する。							
H29事業計画に関する具体的な目標	・今年度は、「議会報告会」に合わせて、市民の意見を聞く機会を設けるため「意見交換会」を実施することとしている。具体的には各常任委員会別に4回開催することとしており、参加者数はもとより、女性の参加者数についても昨年度の実績（参加者数74人、内女性の参加者数17人）を上回りたい。							
H29事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は11月に、4つの常任委員会ごとに「議会報告会」を開催した。また、それに合わせ、初めての取り組みとして、テーマを掲げた市民との「意見交換会」を開催し、参加者数は合計219名（うち女性は50名程度）であり、前年度実績を上回ることができた。 ・また、開催周知の取り組みとして、各常任委員会ごとに、駅前をはじめ複数カ所にて街宣活動を行い、それらを中讃ケーブルビジョンや新聞に取り上げてもらうなど、議会の活動を少しでも広く周知できるよう取り組んだ。 							
目指すまちの姿に対して、事業実施により得られた効果	・「議会報告会」の参加はもとより、開催の周知などを市ホームページ、ポスター及びチラシ配布、またマスコミに協力をいただきPRを行ったが、これらを通じて、幅広く、議会の活動を周知することができた。							
事業の実施状況を踏まえた課題	・「議会報告会」は毎年実施しており、今後も参加者数を確保できるよう、継続的に周知するとともに、報告会の内容についても、より一層わかりやすい説明や資料提供に努めるなど魅力あるものにしなければならない。							

23		数値目標						
担当課	選挙管理委員会		現状値	H29	H30	H31	H32	H33
H29事業計画	・若年層（新に有権者となる者）への啓発に重点をおき、高校などで出前講座（模擬投票）を実施する。							
H29事業計画に関する具体的な目標	・高校3校に出前授業（模擬投票）を実施する。							
H29事業実績	・高校3校で出前授業（模擬投票）を実施した。							
目指すまちの姿に対して、事業実施により得られた効果	次代を担う高校生を対象に、模擬投票を行う出前授業を実施し、政策を自分の意思で判断してもらうことによって、選挙の意義を理解し、選挙に対する意識を高めてもらうことができた。							
事業の実施状況を踏まえた課題	生徒に選挙制度を知ってもらい、選挙や政治への関心を高めてもらえるように、出前授業を継続し、実施校を拡充していくことが課題である。							

目標3 政策・方針決定過程への女性参画の推進

《目指すまちの姿》

政策・方針決定の場に男女がバランスよく参加しています。そして、参加者が活発に意見を述べ合うことで気づきと新しい発見が生まれ、多様な意見を反映させた決定が行われています。

施策番号	【1】 政治への関心を高める取組の推進
------	---------------------

【担当課長による施策実施評価とその理由】

担当課長	評価	評価の理由
秘書広報課長 (広聴広報課長)	B	当該施策の取り組みを通じ、日常生活の広範にわたり男女共同参画について考える機会の提供に努めているが、現状を踏まえ、継続的に取り組む必要がある。
人権課長	C	女性の政治への関心を高めるという点において、十分な取り組みができていないと考えている。
学校教育課長	B	学習指導要領に沿って、主に社会科において主権者教育を推進している。 また、地方自治や市政への理解を深めるため、夏休みに丸亀市子ども議会を実施し、各中学校群を中心としたリーダーの養成を行った。
議会事務局次長	B	今年度の「議会報告会」は、開催内容の見直しや、開催の周知をマスコミに協力いただくなどの取り組みにより、219人の参加をいただいたところである。今後も引き続き、参加者数の確保に向けたPRに努めるとともに、より一層わかりやすい「議会報告会」となるよう取り組んでいく必要がある。
選挙管理委員会事務局長	B	目標どおり達成することができた。

【審議会による施策実施評価とコメント】

評価	コメント
B	暮らしと政治は密着しており、政治への関心は小さいころから主体的にものごとを考える教育環境が重要。丸亀の投票率が上がるような取り組みを考え、打ち出していくことを望む。

※担当課長、審議会による評価基準

A：目指すまちの姿に対して施策の効果が十分得られた。

B：目指すまちの姿に対して施策の効果が得られた。

C：目指すまちの姿に対して施策の効果がほとんど得られなかったため、事業の見直しが必要である。

目標3 政策・方針決定過程への女性参画の推進

《目指すまちの姿》

政策・方針決定の場に男女がバランスよく参加しています。そして、参加者が活発に意見を述べ合うことで気づきと新しい発見が生まれ、多様な意見を反映させた決定が行われています。

施策番号	【2】	行政機関における意思決定の場への女性の参画拡大
------	-----	-------------------------

施策の内容	市民公募の拡大、団体への協力要請などを通じて、市の審議会等への女性委員の登用を進めます。								
24		数値目標	《指標》 ①審議会等委員の女性登用率 ②女性登用率が40.0%～60.0%である審議会等の割合 ③女性のいない審議会等の数 ※()は当該年度の目標値						
担当課	人権課男女共同参画室		H27	H29	H30	H31	H32	H33	目標値
			①35.5% ②44.9% ③3	①36.0% (②49.0%) ③2 ①36.4% ②54.5% ③3	①37.0% (②54.0%) ③2	①38.0% (②60.0%) ③1	①39.0% (②65.0%) ③1	①40.0% (②70.0%) ③0	①40.0% ②70.0% ③0
H29事業計画	<ul style="list-style-type: none"> 委員改選時における男女共同参画部局への事前協議の徹底。 各審議会等の女性登用率を見える化する（庁内LANや市ホームページなどに掲載）。 								
H29事業計画に関する具体的な目標	<ul style="list-style-type: none"> 審議会等委員の女性登用率36.0%。女性登用率が40.0%～60.0%である審議会等の割合49.0%。女性のいない審議会等の数2。 								
H29事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 審議会等委員の女性登用率36.4%。女性登用率が40.0%～60.0%である審議会等の割合54.5%。女性のいない審議会等の数3。 								
目指すまちの姿に対して、事業実施により得られた効果	審議会等への女性登用をする必要性及びバランス良い登用率となるように意識する職員が増加していると考えます。								
事業の実施状況を踏まえた課題	意識の高い職員が増加している一方で、女性専門家の希少性を理由に女性のいない審議会等の数を減らすことが困難な状況に至っている。								

施策の内容	市役所女性職員の計画的な人材育成と管理職への登用を推進します。								
25	職員課	数値目標	《指標》①市役所女性管理職(全職種)の割合 ②市役所女性管理職(一般事務職)の割合 ※()は当該年度の目標値						
担当課			H28	H29	H30	H31	H32	H33	目標値
			①27.3% ②18.6%	(①28.0%) (②20.0%) ①28.3% ②20.4%	(①29.0%) (②21.5%)	(①31.0%) (②23.0%)	(①33.0%) (②24.0%)	(①35.0%) (②25.0%)	①35.0% ②25.0%
H29事業計画	・女性職員の人材育成及び管理職登用については、女性活躍推進法に基づく特定事業主行動計画に基づき、効果的な方策を検討し、推進していく。具体的な事業としては、女性活躍支援研修の実施を予定している。								
H29事業計画に関する具体的な目標	・副主任～担当長級の女性職員を対象とした、女性活躍支援研修を実施予定（各回40名程度参加）。研修実施前後に、現在の職位における求められる役割や能力に対する不安等の意識調査をし、研修の効果測定を行う。								
H29事業実績	女性活躍推進研修は、10月と2月に開催し、延べ70人が参加した。参加した人の事前アンケートでは、管理・監督職に前向きな人の割合が3%弱であったものが、研修後は18%弱であった。H29年4月の女性管理職の割合は、全職種で28.3%、一般事務職で20.4%となっている。								
目指すまちな姿に対して、事業実施により得られた効果	研修の結果、登用に対する不安感を和らげることができたと考えている。また、女性の職場での登用は計画に沿って順調に進んでいると考えている。								
事業の実施状況を踏まえた課題	登用に関する不安感は依然大きいと考えられるので、引き続き女性活躍支援研修に取り組んでいきたい。								

26	人権課男女共同参画室	数値目標							
担当課			現状値	H29	H30	H31	H32	H33	目標値
H29事業計画	・例規、財政、議会、総合計画など、市役所職員としての基礎知識を学ぶ研修を女性職員を対象に実施。								
H29事業計画に関する具体的な目標	・職員からの要望の多い内容の研修を3回以上実施する。								
H29事業実績	「女性職員行政力UP研修」として、①例規、②財政、③議会の概要・総合計画をテーマに、6月から7月にかけて3回開催。参加者数は①18人、②20人、③20人。								
目指すまちな姿に対して、事業実施により得られた効果	研修参加者のアンケート結果を見ると、「研修前は分からないまま行っていたことが、研修後は体系的に捉えることができた」などの意見があり、参加した女性職員にとって有意義な研修となった。								
事業の実施状況を踏まえた課題	・女性職員の能力や仕事に対するモチベーション向上のためにも、今後もこのような研修を実施していくことが必要。 ・女性職員がキャリア形成について不安に思っていることを把握しながら事業を行っていくことが必要。								

目標3 政策・方針決定過程への女性参画の推進

《目指すまちの姿》

政策・方針決定の場に男女がバランスよく参加しています。そして、参加者が活発に意見を述べ合うことで気づきと新しい発見が生まれ、多様な意見を反映させた決定が行われています。

施策
番号

【2】 行政機関における意思決定の場への女性の参画拡大

【担当課長による施策実施評価とその理由】

担当課長	評価	評価の理由
職員課長	B	管理職への女性の登用割合は、数値目標を達成できている一方で、現場の女性の声としては、様々な理由から登用への反対意見もある。
人権課長	B	審議会委員の女性の登用率も少しずつではあるが増加しており、市女性職員の研修についても積極的に受講される職員が増加している。

【審議会による施策実施評価とコメント】

評価	コメント
B	職員の困りごとに対し耳を傾けているなど評価できる。職員が自信を持って働き続けられるよう、職場内の相互理解の機運醸成などの取り組み継続を望む。

※担当課長、審議会による評価基準

A：目指すまちの姿に対して施策の効果が十分得られた。

B：目指すまちの姿に対して施策の効果が得られた。

C：目指すまちの姿に対して施策の効果がほとんど得られなかったため、事業の見直しが必要である。

目標3 政策・方針決定過程への女性参画の推進

《目指すまちの姿》

政策・方針決定の場に男女がバランスよく参加しています。そして、参加者が活発に意見を述べ合うことで気づきと新しい発見が生まれ、多様な意見を反映させた決定が行われています。

施策番号	【3】 企業などにおける意思決定の場への女性の参画推進
------	-----------------------------

施策の内容	企業などに対し、意思決定の場への女性参画推進を働きかけます。
-------	--------------------------------

27		数値目標	現状値	H29	H30	H31	H32	H33	目標値
担当課	人権課男女共同参画室								
H29事業計画	<ul style="list-style-type: none"> 定住自立圏を構成する2市3町（丸亀市、善通寺市、琴平町、多度津町、まんのう町）と、各市町の商工会議所・商工会、国の関係機関が連携して、圏域内の企業に対して、ワーク・ライフ・バランス推進や女性活躍推進に関する情報発信を行う。 								
H29事業計画に関する具体的な目標	<ul style="list-style-type: none"> 2市3町の男女共同参画部局と商工労働部局、商工会議所・商工会、国の機関から成る「協議会」の立ち上げ。 「協議会」から企業に向けた情報発信1回。 								
H29事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 2市3町の男女共同参画部局と商工労働部局、商工会議所・商工会、国の機関を委員とする瀬戸内中讃定住自立圏女性活躍推進協議会を8月29日に立ち上げた。2回の協議会を開催し意見交換をする中で、報道機関として中讃ケーブルビジョン(株)に、アドバイザーとして香川県商工労働課に参画してもらうことを決定した。 協議会から企業に向けた情報発信内容の項目を決定した。 								
目指すまちの姿に対して、事業実施により得られた効果	<ul style="list-style-type: none"> 情報発信には至らなかったが、定住自立圏内でのワーク・ライフ・バランス推進や女性活躍推進について企業に働きかけるための体制づくりができた。 								
事業の実施状況を踏まえた課題	<ul style="list-style-type: none"> 協議会において意見交換する中で、本テーマに対するこれまでの取組内容や優先度について委員によってばらつきがあることが明らかとなった。今後、協議会主催の事業を実施していく中で、定住自立圏域内で実施することのメリットを感じられるような事業内容にし、協議会からだけでなく、各委員からの情報発信・情報収集にもつなげていくことが課題である。 								

28		数 値 目 標						
担当課	産業振興課 (産業観光課)		現状値	H29	H30	H31	H32	H33
H29 事業計画	①企業メーリングリストの活用による女性活躍推進法の周知。 ②企業訪問員などによる企業の女性登用状況の情報収集および男女共同参画室への情報提供。							
H29事業計画に関する 具体的な目標	①企業メーリングリストを活用して経営セミナーを案内する際、女性活躍推進法の周知についても併せて送信する。 ②企業訪問時に女性登用を積極的に実施している企業があった場合、男女共同参画室に情報提供する。							
H29 事業実績	①企業メーリングリストを活用して経営セミナーを案内する際、男女共同参画室のサイトとリンクさせ、女性活躍推進法についても併せて約400社に送信した。 ②企業訪問専門員より、女性活躍を含めた働き方改革に取り組む中小企業4社の情報提供を実施した。							
目指すまちの姿に対して、事業実施により得られた効果	一部ではあるが、中小企業においても女性登用の動きが見られるようになった。							
事業の実施状況を踏まえた課題	市内企業の7割を占める小規模事業者においては、事業規模や景気低迷等の理由により、現状を維持することで精一杯である。(ただし、家内労働で妻や娘が事実上幹部になっている小規模事業者も多く見られ、それらを女性登用と判断するのであれば、女性の起業家等も含め、小規模事業者の方が女性登用割合が高いと言える。)また、中小企業においても慢性的な人材不足が喫緊の課題であり、特に建設業や製造業においては男女を問わず採用が難しい状況の中、女性採用や登用が現実的に実現可能な企業は、一部に限られている状況である。							

目標3 政策・方針決定過程への女性参画の推進

《目指すまちの姿》

政策・方針決定の場に男女がバランスよく参加しています。そして、参加者が活発に意見を述べ合うことで気づきと新しい発見が生まれ、多様な意見を反映させた決定が行われています。

施策
番号

【3】 企業などにおける意思決定の場への女性の参画推進

【担当課長による施策実施評価とその理由】

担当課長	評価	評価の理由
人権課長	B	市内企業において、一部の企業ではあるが女性管理職の増加に務めている企業もでている。
産業振興課長 (産業観光課長)	B	事業計画に基づき、企業メーリングリストを活用した経営セミナーを開催する等、平成29年度においては概ね計画どおり事業を実施した。しかしながら、小規模事業者や中小企業においては、女性採用や登用が可能な企業は、一部に限られている状況であり、満足できる状況とは言えない。

【審議会による施策実施評価とコメント】

評価	コメント
B	取り組み継続のポイントは熱意を持って対象者に関わっていくことである。今後も地道な活動を望む。

※担当課長、審議会による評価基準

A：目指すまちの姿に対して施策の効果が十分得られた。

B：目指すまちの姿に対して施策の効果が得られた。

C：目指すまちの姿に対して施策の効果がほとんど得られなかったため、事業の見直しが必要である。

目標3 政策・方針決定過程への女性参画の推進

《目指すまちの姿》

政策・方針決定の場に男女がバランスよく参加しています。そして、参加者が活発に意見を述べ合うことで気づきと新しい発見が生まれ、多様な意見を反映させた決定が行われています。

施策番号	【4】 防災における男女共同参画の推進
------	---------------------

施策の内容	防災の主體的な担い手として女性を位置づけ、男女共同参画の視点を取り入れた防災・復興体制を確立します。							
	29	数値目標						
担当課	危機管理課		現状値	H29	H30	H31	H32	H33
H29事業計画	<ul style="list-style-type: none"> 地域の自主防災組織等防災体制において、女性も交えた体制作りをするにより、防災訓練等においても男女共同参画の視点から取り組みを行うよう自主防災組織等と協議する機会を設けるよう努める。 							
H29事業計画に関する具体的な目標	<ul style="list-style-type: none"> 訓練計画策定の段階で、地域コミュニティ・自主防災組織と協議し、男女共同参画の視点からの取り組みについて、訓練の中に取り入れてもらう。また、地域担当職員（防災担当）にも同様の取り組みを依頼する。 							
H29事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年3月に、丸亀市コミュニティ協議会連合会と丸亀市自主防災会等連絡協議会が共催して、防災意識の向上・避難所マニュアル作成の機運醸成を目的に、避難所開設・運営訓練を実施した。訓練では、200名以上が参加したが、参加団体に女性を含め参加するよう呼びかけ、多くの女性の参加を得た。 							
目指すまちの姿に対して、事業実施により得られた効果	<ul style="list-style-type: none"> 訓練では、男女共同参画の視点を取り入れた避難所の開設・運営手順を実践的に体験していただき、防災における男女共同参画の視点の必要性を伝えることができた。 							
事業の実施状況を踏まえた課題	<ul style="list-style-type: none"> 今回は、丸亀市コミュニティ協議会連合会と丸亀市自主防災会等連絡協議会共催の訓練であり、全体的な訓練であった。今後は、各地域の訓練等でも今年度と同様な取り組みを実施する必要がある。 							

30		数値目標						
担当課	人権課男女共同参画室		現状値	H29	H30	H31	H32	H33
H29事業計画	・内閣府作成の「男女共同参画の視点からの防災研修プログラム」を使った防災研修の実施をコミュニティや自主防災組織に働きかける。							
H29事業計画に関する具体的な目標	・3コミュニティで実施。							
H29事業実績	・土器コミュニティの行事（9月7日・どきっこ広場）に、避難所運営に男女共同参画の視点を取り入れたDVDを貸し出した。 ・富熊地区自主防災会で、男女共同参画の視点を取り入れた安心できる避難所づくりのポイントについて研修を開催（7月23日）。							
目指すまちの姿に対して、事業実施により得られた効果	避難所運営に男女共同参画の視点を取り入れることの大切さを周知することができた。							
事業の実施状況を踏まえた課題	ほかのコミュニティにも同様のDVD貸し出し、研修会開催などを呼びかけたが、実施は2コミュニティにとどまった。危機管理課とも連携しながら、男女共同参画の視点を取り入れた避難所運営の必要性について働きかけることが必要。							

31		数値目標						
担当課	消防総務課		現状値	H29	H30	H31	H32	H33
H29事業計画	①女性消防団員と地元消防団が連携した消防団のPR活動等を展開することにより、女性や若者をはじめとして幅広く消防団活動への理解と消防団への入団促進を図る。 ②女性団員全員が応急手当指導員を目指し、応急手当の普及啓発を図る。							
H29事業計画に関する具体的な目標	《女性消防団員数》数値目標 25名→30名（女性消防団員の機能別分団の導入検討） 《応急手当指導員数》数値目標 20名→25名							
H29事業実績	①お城まつり、スポーツフェスタ等のイベントで女性団員がPR活動及び消防団加入を呼びかける冊子を配布を行った。また、成人式会場で新成人を対象に消防団加入を呼びかけた。 ・女性団員数は前年と同数であったが、女性消防団に興味を持つ方もおり、H30.4月に1名入団することが決定している。 ②市民及び事業所を対象とした応急手当講習会を前年度より増加させた。 ・応急手当指導員数については、3名が新たに指導員となった。							
目指すまちの姿に対して、事業実施により得られた効果	・応急手当講習の受講者数が前年度の2,600名から3,000名と大幅な増加となった。救急隊員が現場に到着するまでに市民によって応急手当が施されることが増えている。							
事業の実施状況を踏まえた課題	女性団員の募集については、PR活動を行っているが、いまひとつ成果が乏しいと認識している。引き続きPR活動は続けていくが、市民に対しての女性消防団員の活動に対する理解を深めることが課題である。							

32		数値目標						
担当課	予防課		現状値	H29	H30	H31	H32	H33
H29事業計画	・住宅防火推進のため婦人防火クラブ会員増加及び自主防災組織における女性リーダーの育成を目指す。							
H29事業計画に関する具体的な目標	・地域コミュニティで婦人防火クラブの活動目的に賛同していただき、自主防災組織における女性リーダー育成のため常任理事会で各支部長に説明し理解を求める。							
H29事業実績	各コミュニティの会で、住宅防火推進をした。 常任理事会で各支部長に女性リーダー育成のための説明、理解を求めた。							
目指すまちの姿に対して、事業実施により得られた効果	婦人防火クラブの活動はマンネリ化していて、得られた効果はないと思われる。							
事業の実施状況を踏まえた課題	婦人防火クラブは母体団体が丸亀市婦人会であるため、婦人会の動きに頼るしかない。年齢的にもかなり高齢になっているため、防災の主体的な担い手となるためには、婦人会に若い人を加入させ、後継者を育てる必要がある。							

33		数値目標						
担当課	危機管理課		現状値	H29	H30	H31	H32	H33
施策の内容	避難所運営や被災者支援において、男女のニーズの違いなど、男女双方の視点に配慮した取組を推進します。							
H29事業計画	・避難所運営マニュアルにおいて、特に女性の視点からの要配慮者対応など、配慮の行き届いたマニュアルとする。							
H29事業計画に関する具体的な目標	・女性の立場に十分配慮した避難所運営マニュアルを今年度中に策定する。							
H29事業実績	・内容充実のため避難所運営マニュアル策定時期を翌年度に変更する。							
目指すまちの姿に対して、事業実施により得られた効果	—							
事業の実施状況を踏まえた課題	・女性をはじめ、様々な立場の方に配慮した避難所運営マニュアルを平成30年度に策定する。							

目標3 政策・方針決定過程への女性参画の推進

《目指すまちの姿》

政策・方針決定の場に男女がバランスよく参加しています。そして、参加者が活発に意見を述べ合うことで気づきと新しい発見が生まれ、多様な意見を反映させた決定が行われています。

施策番号	【4】 防災における男女共同参画の推進
------	---------------------

【担当課長による施策実施評価とその理由】

担当課長	評価	評価の理由
危機管理課長	B	29年度初開催となった合同訓練については、多くの女性の参加を頂き、男女共同参画の視点からも実践的な内容での体験ができた。避難所運営マニュアルについては、予定よりやや遅れているが、30年度において完成見込みである。
人権課長	C	防災計画や防災訓練について、女性が会議に参画し意見を言えていない。
消防総務課長	B	応急手当講習の受講者が増加し、普及啓発に一定の成果があったと考えられるため。
予防課長	C	婦人防火クラブ員の減少、及び高齢化により住宅防火・住宅用火災警報器の設置等、啓発事業の施策効果が得られていない。

【審議会による施策実施評価とコメント】

評価	コメント
C	男女がバランス良く参加するという意識が弱いと評価する。もっと積極性をもって、若い人の意見を吸い上げる仕組みづくりを考え、実施することを強く望む。

※担当課長、審議会による評価基準

A：目標を達成し、目指すまちの姿に対して施策の効果が十分得られた。

B：目指すまちの姿に対して施策の効果が得られた。

C：目指すまちの姿に対して施策の効果がほとんど得られなかったため、事業の見直しが必要である。